

— 風力発電の末路と  
脱炭素の絶望 —

# 風 新の ツ

— 第十九章



まほろば主人  
宮下周平

市民憩いの海水浴場にもなっている山口県下関市安岡海岸 (画像出典: <https://map.yahoo.co.jp>)



画像: 朝日新聞 2024.2.26 付けより

事業を計画している前田建設工業(東京)によると、建設予定の風車は12基。1基当たりの発電能

「安岡の海は絶対に私が守るので、安心して頂きたい。街の風景にふさわしくない『風力反対』という看板を一つずつ外していったほしい」と、山口県下関市安岡沖で計画されている洋上風力発電事業について、前田晋太郎市長は23日、安岡地区で開いた市政報告会で「**安岡での風力発電は市長である私が絶対に止める**」と力強く述べた。

## 一、名首長の大英断



画像出典：『長周新聞』www.chosyu-journal.jp

力は5MW（1MW＝1,000,000W）、最大出力60MW。安岡地区からの距離は最短で約1・8kmで、運転期間は20年を予定している。

2009年から始まった事業だが、騒音や低周波による健康被害などを懸念する地元住民らが反対運動を展開し、着工できない状態が続いている。

市政報告会で前田市長は「私が市長になった当時（17年）は、民間事業である風力発電のブレーキをかけることは難しかった。国がルールを変えて**地元自治体の首長、県知事が最大の認定権限者に**

**なり、地元の市長と知事を通さないと設置できないことになった」と説明した。**

宮城県では、風力事業に対して「営業利益の約2割を支払わせる新税の創設」が4月から導入される。

国や道の顔色を伺いながら逡巡（しゆんじゆん）しているどこかの首長。片や、信念の意志を市民に堂々と宣言する肚の据わった首長も、日本にはいるのだ。

## 二、木村さんの風車と魚のお話

昨年10月28日、仁木町最後の学習会に、飛び入りで講話して戴いた「奇跡のリンゴ」の木村秋則さん。当園の無農薬・無袋のリンゴを視察されての役場で風車反対応援メッセージだった。



木村秋則さんの飛び入り講話

「……最後に出ました小さな水力発電。これが日本には一番最適な、環境を壊さない、そしてまた地域に密着した発電方法ではないかと思えます。大きなダムなどには要らない。現在流れている川を利用して電気を起こして、地域を活性化させるということはすごく良いことではないかと思っっています。

とんでもない数の風力発電があるわけです。最初の2、3年は何も問題は起きなかつたそうです。それから4、5年過ぎて初めてその異変に漁師たちが、気がついたわけです。それは魚がいなくて、ほとんど遠くまで行かざるを得ないのが現在の状況だと話しかただけだ。

そういう話をして、何のためか。この大きな巨大な風車を建てたのかな。そのおかげで、漁師たちは沿岸の漁業ができなくなつて、ほとんど遠くまで行かざるを得ないのが現在の状況だと話しか



画像出典：『産経新聞』https://special.sankei.com/



ていたのを、この話を聞いてすぐ思い出しました。

やはりみんなで力を合わせて、今のお話のように、自然が元に戻るのには、壊すのは一瞬、元に戻るのには100年、200年でできないと私は思っております。

同じことが農業にも言えてるんじゃないか。肥料、農薬、除草剤、たしかに素晴らしい生産を大きく上げました。でも、その裏では地球温暖化という、とんでもない、この地球に人が住んでいけるのか、という事まで危ぶまれている。最近の気象状況でもあります。少しでも私はこの環境を守って、住みよい、この生活をまた復活させたいなと思ってる次第です。……そして、皆さん、ハチドリの話、ご存知ですね。小さな小鳥の話。世界的にこの話は広まっている話ですけども、みんながハチドリのような思いになって羽ばたいていったら、どれほど住みよい地球になっていくんじゃないのかな、そう考えております。

### 三、武田邦彦先生の洋上風力への正論批判

そんな折、youtubeの「虎ノ門ニュース」の特集「洋上風力発電による環境破壊」で科学者の武田邦彦先生が、この洋上風力から始まって、風と自然のことを語られ、瞠目したのだった。風車により、風が奪われ、樹木が育たなくなるというのだ。風利用ではなく、略奪という耳新しい学説に驚愕したのだ。

### 『科学で読み解く表と裏』 (虎ノ門ニュース)より

武田邦彦

#### 風力発電で木は半分には?

(アナウンサー) 「科学で読み解く表と裏」、自治体が住民を苦しめる時代が来ています。これ、どういう問題ですか?

(武田邦彦先生) 今回取り上げるのはエネルギーの問題です。最近日本人は何も考えずに「地球が温



「再エネ海域利用法」は、海域において再生可能エネルギーの発電施設を建設して電気を作り出すことを推進する法律で、2018年に制定されました。これを受けて促進地区となる山形県や遊佐町で洋上風力発電を建設する事業者の公募が始まりました。ここで武田先生、問題点はどこでしょうか?

暖化する」とか、何か言ってるでしょ? 「カーボンニュートラル」とか。そういうことは「本当に日本人のためになるのか」と言うことが一つ。洋上(風力)発電の計画が、今進んでおります。その影響をちよつとお話しします。

(アナ) 基礎情報お伝えしておきます。去年の10月のことです。経済産業省と国土交通省は、再エネルギー海域利用法に基づいて、山形県の遊佐町沖および青森県沖日本海を促進地区に指定しています。

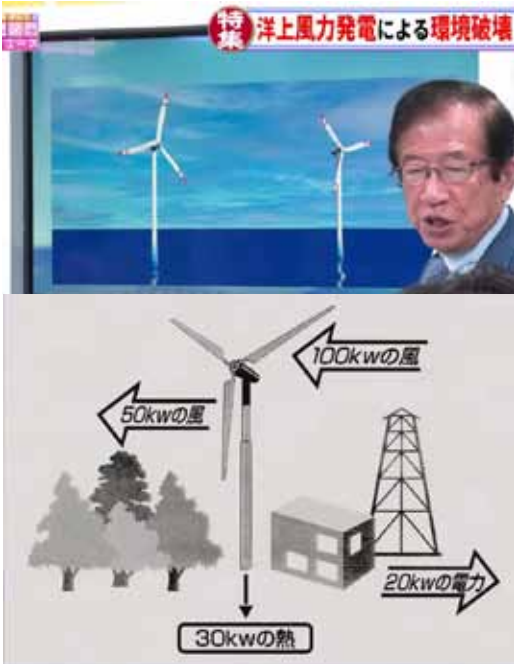
(武田先生) まずね、風はただ吹いてると思ってる人がいる。30年位前に僕は風力発電の問題の本を書いた。風力発電で電気を取るじゃないですか。そうすると風のエネルギーの1/5ぐらい頑張れば取れるんですよ。そうすると下手の風は、半分に減るんですね。そうすると、下手の木が半分になる。風は誰のために吹いているかと言ったら、日本の自然を保つために吹いてるんです。風が吹くことによって、鳥も飛んで

地面も乾いて、波も立って、魚にも酸素がいつて、と全部なるわけですよ。ところが人間ってね、変なことに、「風力発電は何も影響ない」と思ってる。僕が「風力発電だったらこういう影響ありますよ」って本に書いてらね、「武田はアホだ」と。「風を利用して木が減るって？お前何言ってるんだ？」と言われるわけです。

## 下手の風が弱くなる理由

(アナ)「自然に影響があるということはない」と？

(武田先生) 自然の影響がなかったら風力発電などやらないじゃないですか。それをちよつと今日お話ししようと思えます。具体的な例があります。洋上風力発電のこの写真、なんかきれいな海にね、綺麗な風車が立ってて、いいみたいな感じがするじゃないですか。文科系の人なんかね、「これ作ったからって木が減るの？」と思ってると思います。



ところが科学的な話からいきますとね。なぜ100kWの風が吹くかと言うと、太陽エネルギーが照射するところにばらつきがあるから。強い太陽エネルギーで、気圧が高くなったり、低くなったりして、そこで風が流れる訳です。元々は太陽エネルギーなんです。人間以外の生物は、全部太陽エネルギーで生きてるわけです。

たとえばこの図(左図)のように、100kWの風で羽根を通して、そこから20kWの電力をぎりぎり取るとすると、どうしてもエネルギー効率があつて30kWは熱になります。温暖化しますけど、まあこれはどうでもいいと。ところが

風力発電で50kWの電気と熱が出ますから、下手の風はその分だけ風のエネルギーが50kWに減っちゃうんです。と言うことは、風が弱くなるということなんです。

## 木が脱水症状になる仕組みとは？

木の数は何で決まってるかというと、ほとんどの場合は風の強さで決まっている。洗濯物と一緒に干すよ。

木というのは、地下から水をくみ上げてるでしょ。よく篩管とか導管とかいうじゃないですか。植物は僕らジョウロで水かけないと枯れちゃうでしょ？あれ、なぜかと言ったら常に水があるんですよ。根からのね。何故かかっていたら僕は歩いたりできるし、水飲んだりできるし、汗もかくので、体から熱が出せるわけですよ。体っていうのは、なんで僕らが歩けるかっていうと、1歩あるごとに体を冷やすわけですよ。汗をかいたり、風が吹い

たり。そういうことなんです。だから箱根駅伝なんか見ると分かるけど、箱根駅伝で走ってる選手はみんなランニングシャツを着てるんですよ。冬の最中に。観てる人はコートなんですが。あれはどうしてかっていうと、あのスピードで走るためには、できるだけ体を早く冷やす。冷やした分だけ走れる。それを失敗すると、熱中症になって、脱水症状になるでしょ？

だから木が脱水症状になっちゃうんです。水を吸って蒸発させるにも風が来なくなると…。葉っぱというのは水を蒸発させるためにある。あと太陽を受光する為にあるんです。だから太陽を受光して、葉っぱで水分を飛ばして、それで体を冷やして生きています。

ちよつとどっか食へに行くってことが、木にはできないんですよ。だから木っていうのは、太陽の光と、風がないと、それから水をくみ上げられないと。その場所から移動できないんですよ。風を待っているんですよ。

木ってね、なんでまっすぐ上へ行くかという、まっすぐ行くの



# 風の

「僕が本に書いたら、「何を言ってるんだ？」と。「風は、電気を取ったって風は変わんない」なんて言うからね。エネルギー

は、太陽の光を自分が受けるから。曲がると遅れを取っちゃうから。だから上へ上へと伸びるわけですよ。だから上に伸びて、太陽の光を受け、風を受けて、水を吸収して、これが木というものなんです。簡単に言うと、100kWの風が50kWになったら、もちろん木は半分になると。僕が本に書いたら、「何を言ってるんだ？」と。「風は、電気を取ったって風は変わんない」なんて言うからね。エネルギー

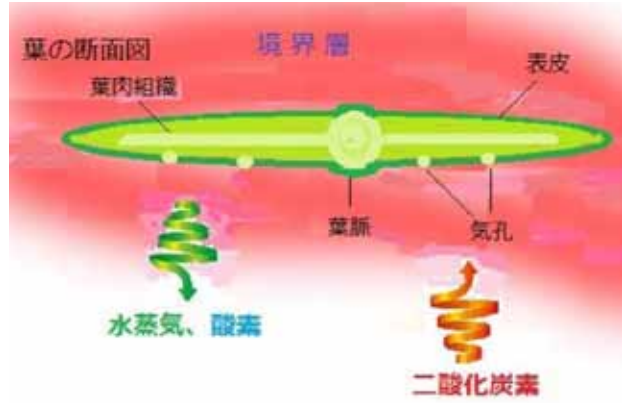


図1. 葉の周辺大気境界層模式図

BSI 生物科学研究所「実用作物栽培学」<https://bsikagaku.jp/>より

保存則があるんだと、そこから始めないといけない。

## 洋上風力で魚が減る

もちろんこれは一例であって、洋上の場合はどういう問題が起きているかっていうと、波はね、全部風です。波が起きているから、空気中の酸素とか空気のCO<sub>2</sub>が海に溶けるわけです。風も何も起きなかつたら、拡散して、ちよつと難しいですけど、そのうちに「境界層」ができて、もう全然吸収しなくなります。波が立つからいいんです。

(アナ) この風車を一面に置くわけじゃないから少しぐらいはいいんじゃないかと？

(武田先生) そうそう。その質問について僕はね、例えば、政府が洋上(風力)発電の指定地域を決めるときに計算しろって言っている。

国立環境研があるから、ここに洋上発電つけたら木がどのくらい減るか。減ることは間違いない。それから魚がどのくらい死ぬか。死ぬことは間違いないですよ。だつ

て酸素とCO<sub>2</sub>が減るんだから、死ぬわけですよ。

それをまず計算して、それで環境上、こういう影響は必ずあるから、だから「木は、今1万5千本あるけど、これは1万本に減りますよ、よろしいですね」と。「魚はこれだけの漁獲量がりますけどいいですね」と。これやっぱり言わなきゃいけないけど、あの国立環境研っていうのは政府から金もらってるから、政府がやるっていうことに反対しないで全然計算しないですよ。

(アナ) そこでの林業とか漁業の人、大変ですよ。

(須田慎一郎) いや、だからさ。

普通は、これ陸上だったら環境アセスって必ず義務付けられている。要するに海上だからそこは無いんだ？

(武田先生) そう、みんな騙されちゃうんですよ。

結構きわどいんですよ。木の数とか魚の数っていうのは、

その時の風とか太陽の光で数が決まってくるから。簡単に計算するんだったら、魚の生存エネルギーと、木の生存エネルギーと、この電力でちよつと計算したら半分になるとわかる。それはちよつとあんまり雑だから、国がやるんだしたら、やっぱりコンピューターできちつとやらなきゃいけないっていうのが、まあ基本なんですよ。これはもう、教科書があるわけですよ。

魚獲効果の調査 (蘭、Offshore Wind Park Egmond aan Zee)

● 風車基礎近傍および風車間 (砂底域) において刺網を用いた漁獲調査および音響カメラを用いた調査を連年5年後に実施

風車基礎近傍での刺網設置位置 (van Hal et al., 2012)

魚種	春	夏	秋
タイセイヨウダラ	○	○	○
ヨーロッパイチョウガニ	○	○	○
ブルラウト (カサカサ)	○	○	○
フランスダラ	○	○	○

※ 風車基礎で捕獲されたタイセイヨウダラの量は、風車間の砂底の6~30倍

魚種	春	夏	秋
ソレネット (シタピラメ類)	○	○	○
タブ (カレイ類)	○	○	○
ソール (シタピラメ類)	○	○	○
ホワイトニング (タラ類)	○	○	○

画像出典: (公財) 海洋生物環境研究所

## 聞こえない音が人に与える影響

それだね、もつと変なのがあった。まずこれ結構鳥がぶつかって死ぬんですよ。これ渡り鳥ね、特に山形県なんか渡り鳥の通り道ですよ。これ結構死ぬんですよ。で、鳥の死んだ死骸がかわいそうにね、プロペラで切られるから切られたやつがダーツと死骸がね、海岸に打ち上げられるんですよ。それも可哀そうだし、花粉も飛ばなくなるでしょ？もちろん、風が半分になれば、花粉の飛ぶ量が半分になるから、たんぽぽも半分になると受粉しづらい。

ところがもう一個、大きな問題、人間に対する影響ですね。だいたい2Hzとか低周波の音が出るんですよ。音と人間っていうのは、空気の振動ね。これ、「聞こえないからいい」とってアホな事言ってるのがあるの。聞こえない音っていうのは、非常に重要だね。

例えば昔、森林浴って、森林に行くとか心が休まるとか言ってたけど昔はマイナスイオンとか言ってたけど、

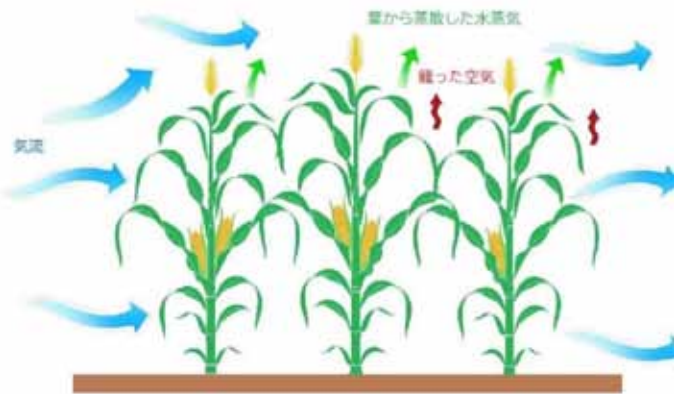


図2. 気流が作物の生育環境に及ぼす影響の様式図

BSI 生物科学研究所「実用作物栽培学」<https://bsikagaku.jp/>より

ど、その後、木の中心から出てくるわずかなクレゾール臭が人間を落ち着かせるんだっていうのが、マイナスイオンの次にあつて。その後2004年ぐらいから違う研究が出てきて、今は2万Hzを超える聞こえない音。それが人間に作用して心が落ち着くんだったということになっております。

(アナ) 今、それが主流なんですか？

## 再エネは自然も人間も壊す

(武田先生) そう変わっております。音というのは、例えば若者がたむろするところで、若者を追い出すために2万Hz以上使うでしょ？だから人間っていうのは、もう全然聞こえない音から、低周波も高周波も、それを感じているんですよ。低周波の場合は、お腹なんか揺すられるんですよ。だから人のお腹の状態で、また周波数も変わるんですよ。

風力発電の周波数も低いから聞こえないんです。だけどね、空気は振動してますから。もちろん洋上発電やっているとところの近くの人は、振動によって、頭痛とか腹痛とか多くてね。山形県で洋上風力やっているとところがあるんですよ。小規模だけど。そこでこの前、ある家庭が引っ越しましたよ。市か町かしのれないけど、余ってる市営住宅に移動してもらったの。もう海岸淵に住めないからね。

そういう人って百人に一人ぐらいいしくない。だから声が小さくなっちゃう。だからしょうがないから市の方も、「相手が国だから抵抗できないから、しょうがないか

ら、あその市の住宅に移つてもらう」って、その人に合意してもらって移つたら、すっかり今、元気がいい。だからこの問題ってのは、木の問題があり、魚の問題があり、鳥の問題があつて、チヨウチヨの問題があつて、花粉の問題もあつて、さらに人の問題があるんですよ。(「風の祈り」第18章参照)

これはね、自然を守る再生可能なエネルギーとは、とんでもないんですよ。自然を壊す、人間を壊すものなんですよ。

## エネルギーすべて再エネだと、森林は1年で消える

(アナ) 相当な影響が目に見えないところで起きてしまっているという事実がもう、かなり起きてるわけですね？

(武田先生) 日本の自然がこう再生する力っていうのは、風とか太陽の光で再生するわけですよ。その一番いい例が樹木ですね。

## 今の日本人の使っているエネルギー





風力発電用 騒音・低周波音圧モニター  
www.aco-japan.co.jp

ギーってというのは、それを全部日本の太陽光とか風力とか、そういう物で補おうとすると、一番分かりやすいのは、日本の森林が一年で全部なくなっちゃうんです。一年で。それが今の日本人の、エネルギーの使い方なんですよ。

だいたい大型象が昔は2頭、今は3頭っていわれている。4tの大型象3頭分使うんですよ、ひとりで。すごい贅沢な生活だから。

だって日本の森林に住んでいる動物なんか少ないじゃないですか。あれで、やっとなんかして。どんぐり食べたりなんかして。

だから、日本人が自然のエネルギーになんて頼ったらもう、日本の自然は全部ダメになっちゃうんです。

九州のある市の市長さんがね、「議会が太陽光発電もうやれやれって言われるから、武田先生計算してくれ」って名古屋大学の時に、二年間行ったりして計算したの。

その市の場合ね、ちよつと山岳なんか多いところですけどね、太陽光を利用してその市が使う電力の2%を作ると、絶滅危惧種が全部亡くなっちゃう。

## 8%の太陽光発電で、動植物が全部死ぬ？

(アナ) 本当に、北海道では風力発電のために絶滅危惧種の動物が、危機に瀕しているという報道があるんです。

(武田先生) そうなんです。絶滅危惧種はね、すぐ死ぬんです。あの要するに、ダム作っても風力発電作っても、太陽光発電を作っても、絶滅危惧種がまずやられちゃうんです。

なんでかっていったらね。僕その市で研究して初めてそこでよくわかったんだけど、レッドデータ

ブックってあるんですよ。で、そのある種はこのぐらいいて、どこに住んでるか。

そうするとね、僕らは利用したいと思うところがね、人間があんまり利用してないような沼地だとか、そういうところにまず目をつけちゃうんです。風力発電でも、太陽光でも、ダムでもね。

そういうところに住んでる動物って、絶滅危惧種みたいなんです。弱いから。畑とか、いいところは人間が使っているんですよ。



画像出典: <https://news.tv-asahi.co.jp/>

それで、その市使っている電気の8%、つまり1/12を太陽光発電でやると、その市の動植物が全部死ぬんです。

それを報告書に書いて出したら、市長さんがそれを議会に説明して、それ以来その議会では、もう太陽光発電やろうっていうのはない。

自然を使うってことは、自然を

痛めて人間が喜ぶってことです。

今はもう、ギリギリで生きてるわけですよ。

だからまだね、僕は計算すると、例えば、そういうことに余裕がある自然エネルギーの余裕度としてみると、日本が1にすると、まだアメリカなんか48だったんですよ。アメリカみたいなところはまだまだ利用できるけど、日本みたいにギリギリで使ってる場所はね、それはなかなか難しい。

(アナ) 「海の生態系もこれ変わるんじゃないですか」っていう質問も結構きてまして。

(武田先生) 当然変わるの、はね、波がね、減っちゃったらね、とんでもないことになっちゃうんです。

(須田慎一郎) でもね、僕、あの根本からね、この問題って考えていかなきゃならないだろうと思うんです。

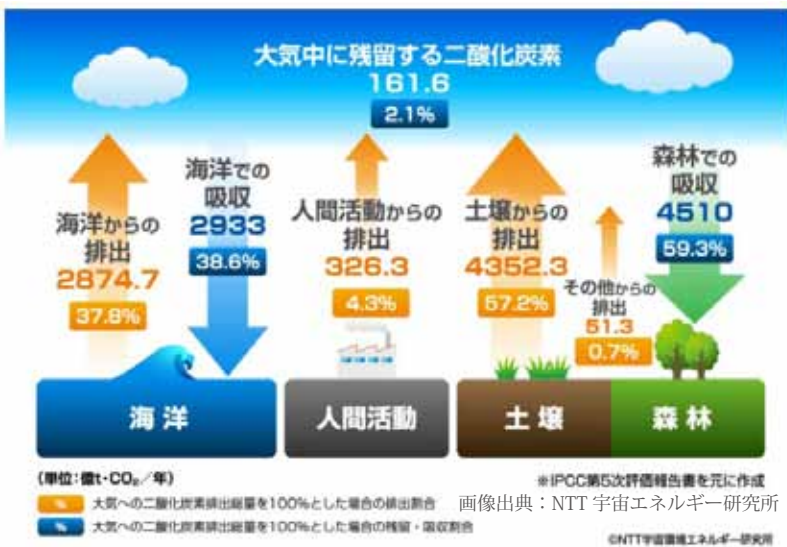
それ何かというと、本当に再生可能エネルギーって必要なのかどうなのか、そこにシフトすべきな

のかどうか。要するにすべきだとするなら（すべきだと思わないよ。僕は）、でも、そしたら、じゃあこの洋上風力、問題があるから違った形で再生可能エネルギーを生み出していこうじゃないかと、そういう方向に議論が行きがち。それは全く意味がないんじゃないかな、と思うんですよ。

## 大学では研究費が出なくなるから計算できません

（武田先生） ちょっとこれはどっかい市で、どこか言えないんだけどね。

温暖化だからCO<sub>2</sub>ね。その市で対策とろうと僕に聞かれたんです。僕の見解では、その市はCO<sub>2</sub>いくら出してもは分子量が44だから海に溶けちゃうから。海の横なんですよ、その市は。だから「もう全然関係ないですから、関係ないことに市民税使うんですか」と聞いたんです。わりと良心的な環境局の課長さんで、「それいけません。やっぱり市民税は市民のためにですね」。



それじゃあ、その市で市民がCO<sub>2</sub>出すと、それが海にとけないで地球温暖化になっちゃうという割合をね、計算してもらったらいと。その市に大学があるんで。ところが大学というのは計算できない。なぜかっていうと、それは国の方針に反するから予算が出ない。僕みたいな変わり者が先生にいないれば、誰も計算してくれない。

その市は、今どうするか困ってるんですよ。つまり「市民のお金だから税金はCO<sub>2</sub>対策に使いたくないけども、それじゃあそのためには、理論がある」と。そうすると大学に頼んで、頼んだ大学の先生は「いや、そんな計算なんかして、この市出したCO<sub>2</sub>は全部海に吸収されません。だからできません」ってなってるね。今、誰に計算してもらおうか、宙に浮いちゃってるんですよ。

（須田慎一郎） でもね、僕思うんです。それは本質的な問題であってね。結局、そうすると計算をすると、ようするに「やらなくてもいい、やる必要はない」と、という結論が出るのがわかってるわけですね。

そうすると、じゃあ今、その

### 「温暖化対策」とか「CO<sub>2</sub>

を抑制しよう」、「ゼロカーボンだ」という問題

ってのは、政治



問題じゃない？これ。科学的な問題ではなく政治問題ですね！

（武田先生） そう、だから政治問題が上に来てるから、科学・学問の自由があるけども、実質上は「政治的な金で、学者ができない」っていうこういう状態にある。

だからこの風力の問題も多分、国立環境研なんか応じないのは、こんなことをやったら大変だと。風力発電所ができるっていう金を準備したらどうするんだと。6000万の賄賂を出しちゃって、逮捕者も出してると、こうなっちゃうんで。

で、こういう問題が全部、日本の自然を壊す方向に今、進んでいる。僕に相談されても、僕はどっかで計算しなきゃならないし、名古屋大学なんかには言えば少しは計算できるかもしれないけど、今はもう引退してね。もう明日の命かって言ってるぐらいなんだから。だからできないでしょ。

（アナ） 結構深い問題ですね。



## 四、戸根ちゃんの体験談

まほろばの店で魚担当の戸根歩さんは、最近までオホーツク海の紋別港で漁師をしていた。昨年石狩に帰って来て、時々幼い頃から素潜りして遊び回った石狩浜の最近の異変に気付き、その様子を語ってくれた。

## 発電所が出来る事による魚への影響

(鮮魚担当、素潜り大好き人間)

### 戸根 歩

私達の住人である北海道の周りには、豊かな海の幸を獲る事の出来る海があります。

近年、環境問題の打開策として風力発電の設置が進み、今後石狩湾に約2千基の発電機を設置する計画があるとの事です。私は、長年海に潜り自然の変化を体験してきました。一部ではありますが、

体験した変化を述べたいと思います。

人工物を海中に置く事で海流や波が強くなり、魚のすみかや繁殖場所が減り、そして流れの変化で海底の舞い上がった泥濁りやゴミ等が流れてきやすくなっています。

以前は右陰に隠れてたソイ、アブラコ、カジカ等の魚が、最近はいなくなり、代わりにどこからか流れ着いた廃タイヤや木材、ビニールゴミなどがあちらこちらに増えています。

そして人工物には、いざれフジツボやムール貝が増えて、カニが集まりますが、それを目当てにトド、アシカ等が集まり、石狩湾新港の沖の防波堤にトドの大軍が押し寄せたこともありました。

その後には魚が無残な形で大量に散らばっていました。

テトラポットや護岸工事のコンクリートも魚が住みずらくしています。

私はアクアリウムも趣味で、毛蟹、平目、ソイ、タコ、フグ、ハゼ、の幼魚を飼育しています。

タコは個体差で、臆病や活発だったりと性



格が異なったりして、魚もあくびをしたりと、飼育してみても多々あります。

そのような水槽に何も処理していないコンクリートを入れておくと、中毒によりあつという間に魚は死んでしまいます。

近年海に潜っていると、今まで見た事が無いカラフルな魚や貝が居る事が多々あります。

特にこの10年で一気に変化してきました。

本州の魚や生き物が居ると言う事は、海水温度が下がらず越冬出来る様になったからです。

地球温暖化という声もあります。特に発電所付近の海水温が常に温かいからです。

後、魚を飼育していて注意しなければいけないのは、「音」

「光」「匂い」にもものすごく敏感なことです。少し環境が変わると、直ぐに餌を食べなくなりします。

風力発電所が出来ると言う事は、「ストレスの塊」になってしまい、魚が住めな



戸根ちゃんが獲ったオヒョウ

くなってしまいます。

これは漁業にも影響していて、今まで獲れていた区間で網を張っても魚がいなくて、漁獲量が無くなったたりして、死活問題とも言えます。

海洋生物問題とは全く関係ないですが、テロへの対策として、付近の海が立ち入り禁止になっています。今まで潜ってた海が防テロ対策で泳げなくなっています。

今後発電所が増え、漁師でさえ魚を獲る事が制限され始めています。

北海道の豊かな海の幸が、今までみたいに食卓へ並べられなくなってしまう。これでは大自然の北海道が、北海道では無くなってしまう。

以上、発電所が出来た事による体験を述べましたが、今後、増加計画があるので、「海の破壊計画」と言っても過言では無いと思います。一度破壊されたら復元は困難です。

今の北海道が、これ以上壊されない事を願うばかりです。

## 五、欧米の「脱炭素」は、「非人道」に転落した

「脱炭素」という名の正義名分。そのお題目で、議員も事業者も、無法者、ならず者の利権屋に走っている。もう、そんな似非正義の旗印が通用しない時代になった。国民は、眼を一転させて、世界の脱炭素や再エネの実態が、どんなものか、知る必要があるのだ。情報統制され、日本だけが世界の草刈り場、日本人だけが盲のまま孤立してしまっただ。この事実を真正面から、受け止めるべきである。

● 「脱炭素」の天使が、「脱エネルギー」の悪魔に変貌



破綻した欧米の「脱炭素」政策 誤り認めない先進国に煽り受けた貧しい国々、化石燃料と電力の確保に必死。EU首脳は、ロシア産エネルギーから依存脱却で合意した=3月11日、フランス・ベルサイユ（ロイター）

ドイツをはじめとする欧州は急

進的な脱炭素・再エネ・グリーン政策を採り、石炭火力発電所の閉鎖を加速し、その開発・投資の廃止など極端な方針で来た。ロシアの天然ガス輸入に依存しながら、太陽光・風力発電を大量導入した。だが、ウクライナ戦争により、その回路が全て断たれ、化石火力発電による外部電力に頼る再生可能エネルギー発電が全面ストップした。その再エネ発電所は、今まで

何だったのか。その脆弱な実態が国民の知ることになり、結果深刻なエネルギー不足に陥ったのだ。つまり、化石燃料無しに、再エネは稼働しない裏事情が、表舞台で暴露されたのだ。それにより、光熱費の高騰化で、欧州各国は、世界中の天然ガス、石油石炭を買い漁った。ドイツのシヨルツ政権が、人権問題で痛烈に批判して来たカタール



ドイツ、オラフ・シヨルツ首相  
www.bbc.com

国外逃亡。第三世界は、現在、混乱迷っているのだ。欧米の暴走に巻き込まれて、国家の生計が成り立たなくなっている。

世界銀行や国際開発銀行に圧力をかけて世界的規模で、途上国へ化石燃料関連事業への投資融資を止め、再エネなら投資すると言った欧米の脱炭素政策。このエネルギー生産力に枷をかける一方、エネルギー危機になった今は、爆買いで原料を奪って窮地に陥れるなど欧米の**独善独我主義**。クレイゴとの脱炭素の説教をしながら、片や化石燃料を買い漁って、己れのみ生き延びんとする**列強欧米**。まさに「脱炭素」という**プロパガンダの虚構の仮面は、すでに剥がれてしまっているのだ**。日本が、これに盲従して右往左往するバカさ加減は、もういい加減に止めるべきではないか。

だが、もっと深刻なのは発展途上国だ。バンングラデッシュでは、天然ガスを欧州に買い負け、停電が常套化、スリランカでは運輸燃料が買えず、政権崩壊、大統領が

### ① 英国では風力発電の新規建設「入札ゼロ」の異常事態

風力発電拡大に前傾姿勢だった



英国が、洋上風力開発権を巡る入札で、「応札ゼロ」という異常事態が起こった。政府の買取価格条件で採算の合う事業者が居なかった。上限価格、66%の引上げ措置も、電気料金に上乘せされるとして消費者の猛反発を受けている。英工デインバラ大学スクール・オブ・エコノミクスของゴードン・ヒューズ氏が、英国等の風力発電所に関する会計報告を分析した結果、ウクライナ戦争による資材高騰、供給網寸断、資金調達増で、風力発電が大幅に急上昇したことを指摘。邁進して来た「ネットゼロ（脱炭素）」政策を放棄した英国。昨年9月、スナク首相がガソリン車・ディーゼル車などの販売禁止期限を延期し



英国、リシ・スナク首相。初のインド系首相  
www.tokyo-np.co.jp

「歴代の英国政府は、脱炭素のコストについて国民に正直でなかった」と断罪し、方針転換の歴史的演説を行った。「コストの議論・精査が欠如していたが、今後は難渋な言葉で誤魔化さず、国民に正直に語る」と宣言した。

英国・ドイツ沿岸は、年中吹く偏西風で設備利用率が55%確保される。しかし、日本は良い風況でも35%が上限である。つまり、単位発電量当たりのコストは欧米に比べ、60%高くなるのだ。

洋上風力が、沿岸から遠のくにつれ浮体式で建設コスト増になり、海底も深くなり、メンテナンスも高くなる。天災地変へあおりは一層脆弱である。操業年数が経過するほどに、故障・保守コストが想定外に年5%レベルで増え、タービンも劣化し発電力が（設備利用率も）下がり、12年で20〜30%レベルで膨らむのだ。

かくも絶望的な試算も、なおも平気で推進する事業者は、国民の税負担が目当てだ。それでも、推進賛成のお人好し日本人。

欧米の風力大導入という「産業実験」の大失敗が明確なのに、敢えてこの愚行を再びと踏み始めるのか。

② ドイツでは、急進的な脱炭素政策を採って来た「緑の党」の理想主義は当初人気があったものの、無謀なエネルギー政策の末路と実体に国民が目覚まして支持率10%台に暴落。一方脱炭素政策に異議を唱える「ドイツのための選択（AfD）」（アリス・ワイデル共同党首）が支持率20%台で逆転。

エネルギーコスト高騰で、フォルクスワーゲンやBAW F（総合化学会社）が、海外に工場移設で産業の空洞化が加速している。政府の脱炭素政策の「税優遇縮小」など皺寄せを食らった農家が、大規模デモ活動を首都ベルリンで行い、主要道路をトラクターで占拠した。

さらに、ベルギーの首都ブリュッセルのEU（欧州連合）



EU本部周辺で農家が大規模デモ…トラクター100台以上で道路封鎖、古タイヤに火放つ【ブリュッセル=酒井圭吾】ブリュッセルの欧州連合（EU）本部周辺で2月26日、EUの厳しい環境政策が生産コストの増加を招いているなどと抗議する農家による大規模デモが行われた。デモ隊は100台以上のトラクターで路上を封鎖したり、古タイヤに火を付けたりするなどし、EU本部周辺は騒然となった。欧州各国では、EUの環境政策や輸入農産品の拡大が収入を引き下げていると主張する農家のデモが相次いでいる。EU本部では26日、対策を講じる閣僚級の農業理事会が開かれていた。  
https://jp.reuters.com/



ドイツAfDアリス・ワイデル共同党首 www.gulf-insider.com



ベルリンの農民デモでトラクターの列が続く  
https://www.afpbb.com/

本部でも、農家による大炎上デモの映像が世界を駆け巡った。

③ EUの脱炭素政策に反発するイタリヤのジョルジャ・メローニ首相。オランダも脱炭素に反対目的で設立された政党「BBB（農

④ 「アメリカの洋上風力は、根本的に崩壊している」と、風力発電大手BP社の幹部が、11月に明言。前述の世界大手オーステッド社やエクイノール社は米国から次々と撤退。各社とも多額の損失を計上。



米国大統領選挙を控え、共和党が返り咲けば、バイデン政権のグリーンディール政策は、悉く撤回

民市民運動) (キヤロライン・ファン・デル・プラス党首) が、地方選で第一党に上り詰めた。今、欧州の政治潮流は、「脱炭素」の後退を余儀なくされているのだ。

イタリアのジョルジャ・メローニ首相  
https://jbpres.ismedia.jp/



オランダ BBB キヤロライン・ファン・デル・プラス党首  
https://www.france24.com/en/



され、保守系のウォールストリートジャーナル紙でさえ社説に、「諸

国政府は、炭素排出ゼロ公約を、コストが明るみになるにつれ、後悔して来た。政治家はまだそれを認めたくないようである。」(2023年

3月30日付)と「脱炭素」を社説に発表した。(キヤノングローバル戦略研究所杉山大志)

https://cigs.canon/article/20230420\_7402.html

イギリスやアメリカでは撤退や評価損計上が相次ぐ — 洋上風力発電をめぐる情勢 —

年月日	国	トピックス
2023年6月	USA	エクイノール/BP連合、オーステッドなどがニューヨーク州に条件見直しを要請
7月20日	UK	パッテンフォールが第4ラウンド(R4)の落札事業(1.4GW)から撤退
8月30日	USA	オーステッドが3事業(3.3GW)の減損見通し(23億ドル)を公表
8月31日	USA	エクイノール/BP連合による3事業のPPA(電力販売)価格54%引き上げ要請が判明
9月8日	UK	R5入札結果発表、洋上風力は落札企業なし(上限価格は60ポンド/MWh)
10月12日	USA	ニューヨーク州が洋上風力事業者の条件見直し要請を拒否
10月27日	USA	エクイノールが減損額公表(3億ドル)
10月31日	USA	BPが減損額公表(5.4億ドル)
11月1日	USA	オーステッドがオーシャンウインド1-2の開発中止、減損などを公表(56億ドル)

(注)2023年 (出所)各種情報より筆者作成 画像出典: https://toyokeizai.net/

六、GX構  
想に騙され  
るな! 「ス  
テルス増税」  
は増加の一  
途!!!

政府が昨年GX  
(グリーン・トラ  
ン・フォメーシ  
ン) 関連法を成立。  
今後10年累積で  
150兆円超の投  
資促進。だがこれ

はみな国民負担。脱炭素の「再エ  
ネ賦課金」を上昇させながら、国  
民一人当たり2万円/年×3人世  
帯=6万円/年が奪われる。更に  
見えない増税「ステルス増税」で、  
上がり続ける電気代徴収と給料減  
物価高一方で、一世帯当たり36万  
円/年の負担金となる試算。

一度制定した「脱炭素」政策に  
よる国民への負のあおりは、何処  
まで続くのか。一方、その外資、  
外国人投資家、再エネ議連や事業  
者と外郭団体の利権の為に奉仕す

る眠れる国民よ、今こそ目覚めて  
立ち上がる時なのだ。  
あなたの無関心で、あなたの孫・  
子を奈落に突き落としてはならな  
い。

仁木町の風力発電を考える会

仁木町大江1-341-44 代表 穂積豊仁  
TEL: 080-1863-1306

【仁木風 HP】 https://niki-wind.main.jp/



風の祈り—第19章

2024年3月1日発行  
発行所: 株式会社まほろば

NATURAL & ORGANIC  
自然食の店 まほろば

札幌市西区西野5条3丁目1-1  
TEL:011-665-6624 FAX:011-665-6689  
www.mahoroba-jp.net



何れ、その破綻の日を迎えて、日本の愚を知るのであ  
らう。ネットワークを操る闇の存在に、すべての  
利権が奪われる構造体。(画像出典: https://note.com/  
dokode)